

## コース6の見どころ“スポット”紹介

### ① 矢上川 川崎と横浜の市境を流れる川



みどりが生い茂る川です

矢上川は、宮前区すがおりよくちの菅生緑地で湧き出ている「シミズカシラ」を水源として、矢上橋のすぐ上流で渋川と合流した後、南加瀬の鷹野大橋たかのおおほし付近で鶴見川と合流する、川崎と横浜の市境を流れる川です。小鳥や魚が多く生息していることでも知られています。

### ② 矢上橋／八兵衛橋／一本橋／矢上川橋 矢上川に架かる4つの橋

#### 矢上橋

横浜の綱島から多摩川のガス橋(中原区)付近まで続いていた、旧鎌倉街道の一部だった橋です。



#### 八兵衛橋

昔、八兵衛さんという人が、自分の耕地へ渡るために架けたという橋がその起源だといわれています。



#### 一本橋

かつては一本の木のみが架かる橋だったということが名称の由来になっている橋です。



#### 矢上川橋

矢上川の最下流、鶴見川と合流する手前に位置する橋で、地元では「矢口橋」と呼ぶ人もいます。



### ③ 加瀬水処理センター 市民の使った水をきれいに処理する施設



きれいになった水を川に放流

幸区・中原区・高津区の家や工場で作られた水が、下水道管を通してこの施設に運ばれ、ここで処理されています。きれいになった水はすぐ近くを流れる矢上川に放流されますが、その量は一日で最大 168,900 m<sup>3</sup>にもなります。この施設の上にある「加瀬ふれあいの広場」は、市民に開放された多目的広場で、災害が発生した時には地域の緊急避難場所としても使われます。

**みどころ** 「加瀬水処理センター」は事前に申し込みをすれば、無料で見学することができます。

### ④ 鷹野大橋 矢上川と鶴見川の合流地点に架かる橋

県道 111 号線が通る、矢上川と鶴見川の合流地点に架けられた橋です。鎌倉時代、この付近が馬で渡れる程度の浅瀬であったため、将軍が鷹狩りをした際に使用したことが名前の由来とされています。晴れた日は、この橋の辺りから富士山を眺めることもできます。



バラが咲くたかの大橋ガーデン

**みどころ** 鶴見川側のたもとに、地元町内有志による小緑地「たかの大橋ガーデン」があり、目を楽しませてくれます。また「さいわいリバーウォッチング」の看板には、付近で見られる小鳥や水生動物、野草などが紹介されています。

### ⑤ 鶴見川 遊歩道が整備された市境の川

鶴見川は、多摩丘陵を水源とする一級河川です。鷹野大橋から下流にかけてはコンクリート舗装がされており、歩きやすい道となっています。



ジョギングをする姿も多い川

**みどころ** 市民農園で野菜作りに励んでいる人々などの姿を見かけるだけでなく、川からひょっこり現れるカニに出くわすことも。

### ⑥ 小倉緑道 小倉用水跡に整備された緑道



緑豊かな遊歩道です

「小倉緑道」は、かつての「小倉用水」を整備してつくられた道です。古くは江戸時代のはじめ頃の二ヶ領用水の引き込みに由来し、長い年月をかけ約 8.8 ヘクタールの「小倉用水池」が完成、地域の農業が大きく発展する原動力となりました。夏には近隣の人々の水浴び場として、この用水池は賑わったそうです。

しかし周辺の都市化の波によって水路は埋め立てられ、現在の緑道の姿に生まれ変わりました。

**みどころ** 尻手黒川道路から鶴見川に向かって「小倉緑道ガーデン」が広がっています。地元の方々により丁寧に手入れされた花々を見ることができます。

コース6  
これも  
オススメ!

鶴見川を散策していると、たまに遭遇するのがボートやカヌーの練習風景です。下流へ向かい漕ぎ進む姿を目の当たりにすると、自然と散歩の足取りが軽くなるかも？

